

その他の化学工業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	16～ 17	当社工場内において、筒状の両面テープの材料（直径30cm、長さ約110cm、重さ約30kg）を運搬用台庫（高さ約50cm）から降ろそうとした際、誤ってずり落としてしまい、右足親指と人差し指にあたり負傷した。	36	1～9
2	13～14	外部のイベント会場でお客様用の入浴剤の箱（約7kg）を作業テーブルに載せるため、床から持ち上げた際に腰に激痛を感じた。その後も耐えながら箱の解放、お土産袋詰め作業を続けていたが、痛みが増し休憩した。立ち上がりや歩行も困難になったため、ホテルの車椅子でタクシーに乗り病院へ向かった。	49	1000 ～ 9999
6	7～8	当社第二工場南出入口付近にて、少し高所での作業が発生した為、近くに置かれていた150kg入り液体ドラムに登って作業を行っていた際、足を滑らせて落下し、右足脛骨を骨折した。	49	10～ 29
6	17～ 18	製造現場で10kg入り目の原料（紙袋）を準備用棚の3段目に持ち上げて置いた際、右肩に痛みが発生した。（この時点では治療せず）しばらく様子を見たが痛みがとれない為、病院でレントゲンを撮ったが骨に異常は無かった。その後も改善しない為、別の病院でMRIを撮ったところ、右肩腱が切れている事が分かり、手術が必要と診断された。	47	100 ～ 299
12	9～10	Aラインで充填包装作業をしていた際、台車の上にのっている2つのポリダル（100L）をリフト台車に1つ移動させた。その後、台車をライン前方へ移動する際に、ポリダルの重心がホールベース外だったので、バランスを崩した台車を立て直そうとした時に（樽の重量で倒れないようにする為）、ビシッという音が腰から聞こえ、傾きかけの台車をまわりの人間に助けてもらった後、その場に蹲り、しばらく動けなかった。痛みが消えない為、しばらく休憩し、その後、病院	53	50～ 99

へ行った。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html